



調布市文化協会

調布市小島町2-33-1 調布市文化会館たづくり6F

URL: <http://www.chofushibunkakyokai.jp>  
[chofu-bunkyo@bj.wakwak.com](mailto:chofu-bunkyo@bj.wakwak.com)

## 調布市民文化祭半世紀を超えて ～東日本大震災で気付かされて～

第57回調布市民文化祭実行委員長 高岡 宮子

調布市民文化祭の始まりは昭和20年・太平洋戦争の終戦直後より、第一小学校の廊下や教室を借用し、机の上には収穫されたばかりの大根やさつま芋等野菜の品評会、さらにその上に絵画や写真を展示することから始まり、回を重ねるごとに仲間造りが進められ、昭和30年調布市制施行と同時に調布市民文化祭として正式に発足、さらにその五年後には現在の調布駅南口のバスターミナルに中央公民館が完成し、落成祝いを兼ねて文化祭が盛大に開催されたと記録されています。

勤勉な日本人一人ひとりの努力により、昭和39年東京オリンピックが開催され、高度経済成長の言葉と共にこの市民文化祭も、参加種目が大幅に増加し組織化が計られて来ました。

そんな中昭和50年・市民文化祭発足20年目のタイミングで文化祭永久テーマが「みんなでつくりよう市民の文化」として設定され、以後ポスターや総合プログラム、各催し物プログラムにも掲げられ、調布市民文化祭の合い言葉として定着しています。

半世紀を越えた57回・57年目の文化祭テーマは『未来を創る文化の祭典』と題し、高度なまでの多様に及ぶ調布市の文化に接しました。

品格良く観客目線に配置・展示された作品の素晴らしさ、揃いの衣装で演じる舞台発表の艶やかさ、さらに囲碁や将棋の大会部門は近年女性や子供の参加が増加している事など、調布市民の文化水準の高さをこの文化祭は示してくれます。

同時に私達が微力ながら人々に感動を与えられますのも、日々の文化活動を通じた「他人への思いやり」「気配り」等の存在なしでは語れません。

二年前未曾有の被害をもたらした東日本大震災は、私達が安穏と長年培ってきた芸能芸術活動が続ける中「その活動のみならず日常生活の一つひとつについて今一度立ち止まり考え直す」という絶好の機会を、あの震災は私達に与えてくれましたし、改めて文化活動を続けられる恵まれた環境に誰しもが感謝の念を抱いていると思います。

今も華やかな文化の祭典の参加に躊躇する人もいますが、被災された方々への思いやりは、私達がああ出来事を忘れず自然体で過ごし、個人として何が出来るかを模索し、気配りを怠ること無く活動することではないかと思えます。

先輩諸兄が苦難を乗り越え築かれたこの調布市民文化祭の歴史を確認し、行政との信頼関係を保ちつつ、市民一体となって邁進して行く所存です。

# 平成二十四年度事業報告

平成24年

4・16 文化協会役員会

4・27 第46回定期総会(懇親会)

23年度事業・会計報告

24年度事業計画・予算案

6・3～4

半田市文化協会との研修  
交流旅行(参加30人)

7・9 第1回文化協会理事会

7・9 調布市長と語る懇談会

7・15 会報49号発行

8・11～12

木島平村芸術文化協会との  
交流(参加25人)

8・26 「調布よさこい」への協力

模擬店出店・役員担当

民謡舞踊好友会、ハワイ

アンフラ協会流し踊参加

平成25年

1・17 文化協会役員会

2・4 文化協会理事会

2・16 生涯学習講演会

3・2 茨城県「ひたちなか市文  
化協会」との交流(東日

本大震災義援金御礼を兼  
ねて)

ねて)

※平成24年度「実技講座」  
10団体が実施しました。

2・4 会報50号発行

## 第57回調布市民文化祭実行委員会報告書

平成24年度

4・20～30 文化祭参加団体申込  
受付

5・11 第1回実行委員会  
参加団体確認

開催日程と会場割 他

6・8 第2回実行委員会

調布市民文化祭テーマ「未  
来を創る文化の祭典」・  
予算決定

ポスター・総合プログラ  
ム作成準備

7・13 第3回実行委員会

開会式・文化祭プラザ内容

10・18 第57回文化祭開会式

決定(29団体・3公民館参加)

9・7 第4回実行委員会

運営費とポスター印刷費

支給・総合プログラム・  
「ポスター」各団体所要  
部数の確認

9・10～20 一般市民文化祭参加  
申込受付(95人)

10・5 第5回実行委員会

総合プログラム配布

「開会式」役割分担への協  
力依頼・実施報告書・写真・  
プログラムの提出について

## 調布市文化協会主催 「第16回生涯学習講演会」

日時 平成25年2月16日(土) 午後6時より

会場 調布市文化会館たづくり・8階映像シアター

題名 『血液型で人間を読む』

講師 川崎利秋氏

血液型人間学研究会 ABOの会主宰

「式典・アトラクション  
(オルガン音楽で彩る秋  
の夕べ)」

10・18～11・18 市民文化祭開催

10・20～21 文化祭プラザ

市役所前庭・たづくり東  
側広場にて工芸・囲碁・将  
棋の実技、実演コーナー

フラダンス、三曲協会の  
野外ライブ

10・27～11・4 地域文化祭(各  
公民館)

12・14 第6回実行委員会報告会

参加状況報告、会計報告

次年度の検討・要望など

## 平成二十四年度 木島平村芸術文化協会との交流 第二十八回木島平村夏祭り・盆おどりに参加

調布市文化協会役員 今中 秀昌

前日の予報では雨模様ということので心配していましたが、当日は曇天乍らまずまずの旅行日和で七時丁度に参加者二十五名揃って調布市役所前をバスが発しました。

あり若干渋滞ありましたが交流会場である「パノラマランド・木島平」には丁度一時間の延着となりました。

中央圏央道から関越道を一路木島平村へ向かいました。道路はお盆前の土曜日ということも

交流会は双方の会長挨拶の後、参加者の紹介があり昼食をとり乍ら木島平の歌やから踊りの後、民謡舞踊好友会やハワイアンフラ協会の踊りが披露される等和やかな雰囲気の内、成功裡に終わりました。



夕食の後「けやきの森中央グラウンド」にて木島平村の夏祭りに参加し当日は調布市長はじめ市議会議員の方々も別便で参加されて居り開会式には木島平村村長、調布市長の挨拶と開催宣言で盆踊りが

始まり市議会議員の皆様さんと共に踊りの輪の中に入って行きました。

圧巻だったのは調布市議会伊藤学議長が櫓の上で「調布音頭」を歌い、合いの手を調布市文化協会高岡宮子会長と民謡舞踊好友会両角秀子会長が演ずるという豪華版で会場からやんやの喝采でした。

締めくくりは勇敢な手持ち花火とスターマインが大空に打ち上げられ驚かされました。

翌朝はホテルを九時に出発し途中で、諏訪の浮島と呼ばれる名城高島城を見学し昼食後、原田泰治美術館を見学しました。ドライブインで一休みの後一路調布に向け出発しました。帰路もやはり渋滞が



あつたが無事帰着しました。

あつという間の二日間でしたがとても充実した旅行だったと思います。ただ心残りには寝坊した為参加が出来なかった「馬曲温泉」です。次に機会があれば是非行ってみたいと思つて居ります。

今年の参加団体は、大会・発表部門  
21団体と展覧・展示部門9団体として  
東部・西部・北部の3公民館による地域  
文化祭（10月27日（土）～11月4日（日））  
が各会場で熱心に趣向をこらして実施さ  
れました。  
10月18日の文化祭開会式は出席者六二

### 第57回 調布市民文化祭 「未来を創る 文化の祭典」

2012年 10月18日（木）～  
11月18日（日）  
（文化祭プラザ  
10月20日（土）～21日（日）  
於調布市役所前庭）  
開会式アトラクション  
「オルガン音楽で彩る 秋の夕べ」  
出演 池谷 瑞季  
（オルガン奏者）



フラワーデザイン展（フラワーデザイン協会）

工芸美術展（工芸美術協会）



謡舞踊好会）

薩摩琵琶演奏会（龍子会）

ハワイアンフラフェスティバル（ハワイアンフラ協会）



会（囲碁連盟）

お茶会（茶道連盟）

ビデオ作品映写会（調布映像協会）



七名でアトラクションは「オルガン音楽で彩る秋の夕べ」と題して池谷瑞季（オルガン）と東京藝術大学学生による弦楽アンサンブルのすばらしい演奏に心豊かな一刻を過ごす事が出来ました。

今年の観覧者数は発表部門九、二〇七名、展览展示部門一六、八三四名でした。また10月20日21日調布市役所前庭、たづくり東側広場で開催された文化祭プラザは本部テントでのコーヒー販売や実技・実演コーナー、そしてハワイアンフラ協会のフラダンス及びタヒチダンスの鮮やかな踊りに拍手が送られていました。21日は三曲協会による模範演奏と体験教室が行なわれ市民の皆様好評でした。

「第57回調布市民文化祭」

(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団事業課 森 健二

財団の担当として、第57回調布市民文化祭に参加させていただきました。実行委員会や、関係団体の皆様、そして参加いただいた市民の皆様のおかげで、今年も盛

況のうちに閉幕することができました。心から厚く御礼申しあげます。異なるジャンルで活躍されている30もの文化団体の皆様が、6回の実行委員会、開会式、文化祭プラザなどをはじめ、文化祭を盛り上げるために一丸となっている姿や、各催し物でも笑顔でお迎えいただく姿に、人と

の繋がりの大切さをあらためて考えずにはいられませんでした。今回のテーマは、「未来を創る文化の祭典」でした。この文化祭を契機に、未来に向かって調布の文化がますます発展することを願っております。



写真展（写真連盟）



書道展（書道連盟）



社交ダンスパーティー（社交ダンス連盟）



民謡舞踊・新舞踊発表会（民謡舞踊連盟）



文化祭プラザ 「野外ライブ」(ハワイアンフラ協会)



エスペラント展（エスペラント会）



市民囲碁大会

## 実 技 講 座

## カラオケ実技講座

調布市歌謡同好会連盟

嶋谷 隆治

第十四回カラオケ実技講座の実施日が七月であったにもかかわらず受付日から三日間で定員オーバーとなり数名の方々には大変申し訳ない事をしました。

実技内容ですが課題曲、男性用一曲、女性用一曲を初心者と同じ目線で楽譜通りの正しい音程、発声に重点を置き、繰り返し歌唱して、新曲二曲を無事にマスターする事が出来ました。

毎回の事ですが受講者は初級者が大多数ですからプロ歌手のもの似ねをしないで正しい唄い方の講座ですから、素人は素人らしい発声で楽しく歌を唄う事が大事であると思います。

講師もそのつもりで指導しておりますので受講者も理解して下さいれば目標は達成されたと思います。



## 初心者のための詩吟講座

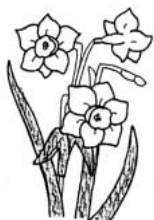
調布市吟剣詩舞道連盟

樋口 尚也

平成二十四年の実技講座として調布市吟剣詩舞道連盟は十月に三回にわたり詩吟講座を実施しました。今回は佐々木朝鵬講師を御招きして、延べ三十名に及ぶ方達に参加していただきました。講師の丁寧な指導により、詩吟の初歩から熱心に学んでいただきました。

詩吟の根本は腹式呼吸による正しい発声を身につける事により、先人の作った詩の心を高らかに吟詠して喉を鍛え、心身の健康の維持向上を計り、ストレスの発散と情操を高めてゆく所にあります。

初めての方でも講師の親切な指導によりすぐに声を出されて楽しく講座を受けられました。今後共この講座を通じて詩吟の普及に一層努めて行きたいと考えております。



実 技 講 座

大正琴実技講座

調布市大正琴連盟

清水 和子

大正琴の歴史は百年にもなりましたが一般的にはなじみが薄いようです。ひとりでも多くの方に琴の音の良さを知っていただく良い機会を持たせていただきました。PRにも心掛け十五名の方の参加で盛り上げる講座となりました。

今回は男性の方が三名参加され「仕事より大変」と云われました。皆さん苦労されましたが少しづつ先に進まれてお帰りになる時は笑顔でした。

楽譜の見方、ボタンの押し方、指使いなどマスターしていただけたと思っています。一曲でも弾ければ楽しい筈です。どこかで続けて下さることを期待しています。



「まゆの花」初心者講習会

調布市フラワーデザイン協会

吉田 京子

昔、調布の町にも蚕を飼っている農家が沢山あったそうです。日本中からその姿が年々少なくなっ  
ていく中、「まゆ玉」を染色し丁寧に剥がして作る「繭花」。

「まゆの花」講習会を十月十七日と十二月八日の二回行いました。文化祭で初めて見て参加された方もいらっしやいました。

一回目は初めて手に触れる方、「懐かしい」と声をあげる方も見た目より強い「まゆ玉」をきれいに剥がされ「ポピー」を仕上げました。二回目はお正月に向けて水引きをあしらひ「白椿」をイメージしたお正月飾りを作りました。各回とも皆さん方、和気あいあいと「まゆ玉」の感触を楽しみながら作品作りが出来ました。ありがとうございました。





# 調布よさこい2012

調布市文化協会庶務 吉田 正夫

今年で10回目となる「調布よさこい2012」が開催されました。8月26日に調布と布田間の旧甲州街道で行われた。

躍動的なよさこい流し踊りには街全体が熱気に包まれ、ハワイアンフラ協会、民謡舞踊好友会そして参加した全てのチームに感動の拍手が送られました。蓮慶寺境内の文化協会による「かき氷」の出店は気温が高かった事と役員皆さんの汗によって予想以上の売上げとなりました。「かき氷」の出店を通して流しの踊り子さん、見物に訪れた人々そして多くの子供達との交流が出来ました。



## 第16回生涯学習講演会

テーマ「血液型で人間を読む」

講師 川崎利秋氏

血液型人間学研究会

ABOの会主宰

日時 平成25年2月16日(土)

18時～20時

会場 文化会館たづくり8階

像シアター

日本人の血液型の構成はざっとA型4割、O型3割、B型2割、AB型1割となっています。

それぞれの血液型には当然長所と短所があり、さらに血液型のもつ気質傾向は、プラスにもマイナスにも働くものとした観点のもとなんとそれをビジネスの世界に活用するなど、奥深い血液型の研究を続ける血液型人間学研究会ABO(アボ)の会主宰・川崎利秋氏を講師にお招きし「血液型で人間を読む」と題しての講演会を開催いたします。



## 編集後記

年の初めの大雪は成人式に向かう晴れ着にも容赦なく降りかかり記念に残る成人式となったことと思います。

昨年八月には、私達市民の悲願でもありました調布駅の地下化が実現し、何よりも、18ヶ所の踏切が除去され南北に分断されていたまちが一つになったよううで便利さを痛感しています。

旧京王線鉄道跡地・敷地には、緑道や駐輪場、憩いの場等空間利用が計画されています。

調布駅、布田駅、国領駅各広場の快適性向上に気配りした計画の実現が楽しみです。

九月には調布市・味の素スタジアムをメイン会場に第68回国民体育大会「スポーツ祭東京二〇一三」が開催されます。良い事づくめの年になりますネ!!

吉田正夫  
加藤弘子